

温州ミカンでは、安定的に高品質果実を生産するため、歓部への雨水流入を遮断するシールディング・マルチ（NARO S.マルチ、以降S.マルチ）栽培が開発されています。そこで「原口早生」を用いてS.マルチ栽培の品質向上効果と経営評価について検討しました。

収穫時の果実品質は、S.マルチ栽培が慣行マルチ栽培に比べ、糖度が1以上高く、酸含量は約0.2%／100gとなりました。また、収穫時のブランド率は、S.マルチ栽培が慣行マルチ栽培に比べ、2倍ほど高くなりました。

この試験圃場（ほじょう）でのS.マルチの施工は2023年6月を行い、農研機構発行の「カンキツにおけるシ

温州ミカンのS.マルチ栽培

「原口早生」の品質ブランド率が向上



6万円程度多くなりました。
経営費はNARO S.シートト（商品名=S.シート十）の減価償却費がかかり、慣行マルチ栽培より高くなりましたが、所得はS.マルチ栽培

S.マルチ栽培「原口早生」の果実品質と経営評価試算

栽培方法	糖度(Brix%)	酸含量(g/100ml)	ブランド率(%)	粗収益(千円/10a)	経営費(千円/10a)	所得(千円/10a)
S.マルチ栽培	13.9	1.07	71.6	746	348	398
慣行マルチ栽培	12.4	0.86	60.2	683	310	373

マニュアルは下記からダウンロード
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/s_multi_manual_20200630.pdf

（S.マルチ）の技術マニュアルに基づき施工しました。マニュアルは表下のURLからご覧ください。
(長崎県農林技術開発センター果樹・茶研究部門カンキツ研究室主任研究員・中里一郎)